

日本電子顕微鏡学会会報

2001
No.3

社団法人 日本電子顕微鏡学会

■2001年11月30日発行

■〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
(財)日本学会事務センター内

■TEL: 03-5814-5801 ■FAX: 03-5814-5820

■E-mail: jsem@bcasj.or.jp

■URL: <http://www.bcasj.or.jp/jsem/>

◇日本電子顕微鏡学会第58回学術講演会

会期: 2002年5月14日(火)~16日(木)

会場: 大阪国際交流センター(〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL: 06-6772-6729)

実行委員長: 森博太郎(大阪大学超高压電顕センター)

プログラム委員長: (材料系) 弘津禎彦,

(生物系) 井出千束

実行委員: 石村和敬, 白倉治郎, 内山安男, 大嶋隆一郎,
大野伸一, 坂公恭, 高井義造, 竹田精治,
富田正弘, 原田嘉晏, 藤本豊士

幹事: 鷹岡昭夫

プログラム委員: 石村和敬, 白倉治郎, 内山安男, 大野伸一,
小野昭成, 尾上孝利, 高屋憲一, 竹安邦夫,
長村義之, 光岡 薫, 山田作夫(以上生物系),
市野瀬英喜, 大嶋隆一郎, 桑野範之, 坂公恭,
高井義造, 竹田精治, 富田正弘, 原田嘉晏,
平坂雅男, 堀田善治, 渡辺精一(以上材料系)

問い合わせ先: 〒560-0082: 豊中市新千里東町1-4-2

学会センター関西

(日本学会事務センター大阪事務所)

TEL: 06-6873-2301

FAX: 06-6873-2300

なお、詳細については同封の募集要項をご参照ください。

◇第12回電子顕微鏡大学について

日本電子顕微鏡学会は材料研究に従事する研究者や技術者、初心者を対象に電子顕微鏡の基礎技術についてのセミナー「電子顕微鏡大学」を企画しています。電子顕微鏡の予備知識が無くても受講できる、平易でしかも実際に役立つ講義内容が特徴です。

受講希望及び詳細については葉書または Fax で下記までご連絡ください。プログラム等詳細をおってお知らせします。

電子顕微鏡大学企画委員長 飯島澄男

会期: 2002年4月23日(火), 24日(水)

会場: 東京大学山上会館(東京都文京区, 東京大学構内)

連絡先: 〒113-0033 東京都文京本郷7-3-1

東京大学工学部マテリアル工学科 別館402

電子顕微鏡大学事務局 (FAX: 03-5802-3383)

E-mail: dendai@emc.t.u-tokyo.ac.jp

◇日本電子顕微鏡学会関東支部

第26回講演会について

標記講演会を下記要領にて開催いたします。多数、ご参加をいただきますようご案内申し上げます。

日時: 平成14年3月16日(土) 9:30~19:00

会場: 日本女子大学八十年館

—イメージングの最先端とその技術—

演題

午前の部

「マウスの遺伝子操作とイメージングを用いた微小管の機能の解明」

原田彰宏(群馬大学)

「光るタンパク質を使用して微小管を見る」

清末優子(カン研究所)

「1分子の蛍光観察とポストゲノム時代」

船津高志(早稲田大学)

「2光子励起法による開口放出像のイメージング」

河西春郎(岡崎生理学研究所)

午後の部(セッションA)

「パソコンで行う TEM の制御からデータ解析まで」

及川哲夫(日本電子)

「電顕像のための画像処理入門」

馬場則男(工学院大学)

「分析電子顕微鏡法におけるノウハウ, ソフトウェア」

進藤大輔(東北大学)

「EFTEM, STEM-PEELS におけるノウハウ」

木本浩司(物質材料研究機構)

「電子線回折パターン解析のためのソフトウェア」

大砂 哲(東北大)

「電子セラミックス材料の HRTEM 像シミュレーション」
鈴木利昌 (太陽誘電㈱)
「高分解能 STEM 像のシミュレーション」
田中信夫 (名古屋大)

午後の部 (セッション B)
「透過電顕: 装置の性能を上手に引き出すテクニク」
西岡秀夫 (日本電子)

「ウルトラミクロトーム: 切ることへの挑戦」
会田嵯武朗 (日本電子データム)

「走査電顕: 装置の性能を上手に引き出すテクニク」
中川美音 (日立サイエンス)

「失敗しないための TEM 試料作製法」
立花利公 (慈恵医科大)

「失敗しないための SEM 試料作製法」
近藤俊三 (三菱化学)

ポスターセッション&クロストーク
尚今回の講演会では支部会員によるポスター発表のセッションを設けます。20~30件程度の発表を募集いたします。ふるってお申し込みください。申し込まれる方は12月末日までに (a) 演題, (b) 講演者名, (c) 所属, (d) 連絡先住所, TEL, FAX 及び E-mail アドレスを下記アドレスまで E-mail でお送りください。また発表要旨の締め切りは1月末日を予定しております。発表要旨の詳細は E-mail にてご連絡いたします。

発表申し込み先: kogure@eps.s.u.tokyo.ac.jp
(東大・小暮 TEL: 03-5841-4548)

◇生体構造解析分科会2001年研究討論会案内

「多面的に観たチャンネルとポンプ」
日時: 2001年12月19日 (水)
会場: 産業技術総合研究所臨海副都心センター内
生物情報解析研究センター
(ゆりかもめテレコムセンター駅 下車徒歩2分)
参加費: 無料 (当日会場にお越しください。)
ホームページ:
<http://em.biophys.kyoto-u.ac.jp/jsem/meeting.htm>

プログラム:
9:30~10:15
「リガンド依存性チャンネルのゲーティング機構」
藤吉好則 (京都大学大学院理学研究科)

10:15~11:00
「チャンネル分子の進化(水チャンネルとナトリウムチャンネル)」
石橋賢一 (自治医科大学薬理学教室)

11:00~11:45
「電子顕微鏡によるチャンネル蛋白質の構造解析」
村田和義 (産業技術総合研究所)

一昼 食一

13:15~14:00
「単粒子構造解析法により判明した電圧感受性 Na
チャンネルの3次元構造」
佐藤主税 (産業技術総合研究所)

14:00~14:45
「動物の個体レベルから見る: 多彩なプロトンポンプ
液胞型 V-ATPase」
孫 (和田) 戈虹 (大阪大学産業科学研究所)

14:45~15:30
「バクテリアべん毛モータ蛋白質の構造解析」
米倉功治 (ERATO 難波プロジェクト)

—コーヒーブレイク—
15:45~16:30
「プタ腎 Na/K- 輸送 ATPase と胃 H/K- 輸送 ATPase
のオリゴマー的性質」
谷口和弥, 嘉屋俊二, 阿部一啓
(北海道大学大学院理学研究科)

16:30~15:15
「P-type ATPase の構造と機能」
小川治夫 (東京大学分子細胞生物学研究所)

18:00~
懇親会 (実費をいただきます)
問い合わせ先: 光岡 薫 (京都大学大学院理学研究科)
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部生物物理学教室
TEL: 075-753-4216
FAX: 075-753-4218
E-mail: kaorum@em.biophys.kyoto-u.ac.jp

◇電子顕微鏡による照射効果研究部会2001年度研究会案内

(日本電子顕微鏡学会北海道支部 超高压電顕研究会協賛)
照射効果研究の今後の展開と課題
—若手研究者を中心とした討論会—
日時: 2002年3月8日13:00~3月9日12:00 (予定)
会場: 北海道大学学術交流会館
(札幌市北区北8条西5丁目)

参加費: 無料
材料科学分野における電子顕微鏡による照射効果研究について問題提起を行い、今後の研究の展開について討論します。興味をもたれるたくさんの方々のご参加を歓迎いたします。(参加ならびに講演発表希望者は準備の都合上、FAX または E-mail にて参加者名、所属、住所、電話、FAX、E-mail を下記連絡先までお知らせください)

問い合わせ先: 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学大学院 工学研究科
物質工学専攻 渡辺 精一
TEL: 011-706-6770
FAX: 011-706-6772

E-mail:watanabe@loam-ms.eng.hokudai.ac.jp

◇平成14年度研究部会公募の案内

申請用紙の請求、手続きの詳細などは学会事務局へご連絡ください。募集の切は2001年12月21日(金)(必着)です。

◇永年会員について

正会員歴30年以上でかつ満65歳以上の会員は、5年分の会費を一括前納することにより永年会員となることができます(永年会員:終生正会員の資格を保有)。永年会員の申請については学会事務局へお尋ねください。

◇ホームページについて

学会ではホームページを開設しています。会員各位のご意見をお待ちしております。URLは以下のとおりです。

URL: <http://www.bcasj.or.jp/jsem/>

また、学会のE-mailアドレスは以下のとおりです。

jsem@bcasj.or.jp

◇関係学協会のお知らせ

1) 「走査型プローブ顕微鏡(15)」

(応用物理学会薄膜・表面物理分科会)

期日: 2001年12月6日~8日

会場: 熱川ハイツ(静岡県賀茂郡)

URL <http://dora.ims.tsukuba.ac.jp/ICSPM9/Top.html>

参加申込: 応用物理学会薄膜・表面物理分科会 伊丹文子
TEL: 03-3238-1043

E-mail: divisions@jsap.or.jp

2) 「極薄シリコン酸化膜の形成・評価・信頼性」(応用物理学会薄膜・表面物理分科会, シリコンテクノロジー分科会)

期日: 2002年1月25日~26日

会場: 熱川ハイツ(静岡県賀茂郡)

参加申込: 応用物理学会薄膜・表面物理分科会 伊丹文子
TEL: 03-3238-1043

E-mail: divisions@jsap.or.jp

3) 第49回応用物理学関係連合講演会

期日: 2002年3月27日~30日

会場: 東海大学(神奈川県平塚市)

問い合わせ先: 応用物理学会 TEL: 03-3238-1044

4) 30th Ann. Meetg. Soc. for Cutaneous Ultrastructure Research (SCUR)

date: 24-26, April 2003

venue: Bildungshaus St. Virgil

[SALZBURG, AUSTRIA]

meeting: Medical Sciences, Biological Sciences, Techniques in Ultrastructural Diagnosis and Research

Contact Name: MUSS Wolfgang PhD.

LANDESKLINIKEN SALZBURG,
ZB-MED INST.

PATHOLOGY, EM-Lab

Muellner Hauptstrasse 48 SALZBURG

A-5020 AUSTRIA

TEL: ++43++662-4482-4720

FAX: ++43++662-4482-882

E-Mail Address: W.Muss@lks.at

◇第46回シンポジウム論文集頒布について

2001年11月14日から16日に物質・材料研究機構(つくば市)で開催した第46回シンポジウム(テーマ:材料のナノ・生物のナノ)では論文集を発行しました。ご希望の方は下記へご連絡下さい。

問い合わせ先: 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

財団法人日本学会事務センター事業部

E-mail: sub@bcasj.or.jp

TEL: 03-5814-5811

FAX: 03-5814-5822

◇会員名簿冊子版について

会員名簿冊子版(2001年版)が僅かながら残っています。ご希望の方は上記日本学会事務センター事業部へお問い合わせください(頒布価格:5,000円)。

◇試料作製技術研究部会研究会のおしらせ

「電顕試料作製はFIBで全て解決するか」

講演(予定)

「新しい試料作製法」 市野瀬英喜(東大工)

「A slice of good fortune」(ウルトラマイクロトーム)

清水健一(慶応大学経済学部化学教室)

「Potentials and limits of the low-energy ion guns as follow-up treatment to remove surface damages caused by FIB or high-energy ion gun」

Barna, A.(ハンガリー科学アカデミー)

「FIB加工による試料ダメージとその低減法」

加藤直子(燐アイテス)

「FIBによる複合材料のTEM試料作製」

上野武夫(日立ハイテクノロジーズ)

「FIBマイクロサンプリング技術の金属応用での現状」

杉山昌章(新日鉄先端研)

「リフトアウト法による試料作製」 辻本勝浩(日本IBM)

「機械研磨によるTEM試料作製」 松澤寿一(燐アイテス)

「セラミックス材料へのFIB加工技術の適応」

加藤丈晴(JFCC)

「Using the technique combined FIB-electron holography to map p-n junction distributions in practical Si devices」

Z. G. Wang(王 洲光)(JFCC)

「イオンシニングによる粉末断面試料作製法」

齋藤智浩 (JFCC)

「はんだ界面の TEM 観察」

虎沢直樹 (名大工)

日 時：平成13年12月13日 (木) 10:00~17:00

場 所：名古屋大学シンポジオン (<http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/higasiyama.html> を参照)

参加費：無料

発表申し込み：可能な限り発表を受け付けますので、下記「問い合わせ先」までお申し込みください。また、業者の方でパンフレット等の配布をご希望される方もお申し込みください。可能な限り対応します。

問い合わせ先：名古屋大学工学研究科量子工学専攻
坂 公恭 (さかひろやす)
TEL: 052-789-3348
FAX: 052-789-3226
E-mail: saka@numse.nagoya-u.ac.jp

◇SCAN TECH 2002開催のご案内

走査電子顕微鏡分科会では次のとおり、SCAN TECH 2002を開催いたします。

期 日：2002年9月13日 (金)

場 所：日本女子大学80年館

問い合わせ先：日本電子データ株式会社
電子光学機器サービス本部
EOCS グループ
小野 昭成
〒190-0012 立川市曙町2-8-3 新鈴春ビル
TEL: 042-526-5065
FAX: 042-526-5075
E-mail: aono@jeol.co.jp

◇ニューマイクロスコープ分科会2001年度分科会

下記のようにニューマイクロスコープ研究分科会 (代表世話人：長村義之) 平成13年度分科会を開催致す運びとなりました。本分科会では医学生物学分野において“生命現象をありのままに捉える”ことを命題とし細胞のダイナミズムを中心にホルモンをはじめとする生体調節因子・遺伝子の発現調節・発生から分泌にいたる細胞内での動態とその異常を電子顕微鏡に基礎をおきつつ共焦点顕微鏡をはじめとする新しい各種観察方法を積極的に活用し、総合的な解析を試みることを目的としております。皆様奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

会 期：2001年12月14日 (金) 10時~17時 (予定)

会 場：富士写真フイルム株式会社本社ホール
(港区西麻布2-26-30)

テーマ：“ニューマイクロスコープでなにが見えるか”

講演予定者 (仮題)：

「In Situ Imaging」 高松哲郎 (京都府立医科大学)

「ラット下垂体細胞における成長ホルモンと Rab3b の発現と細胞内動態に関する電子顕微鏡および共焦点レーザー顕微鏡による観察」 松野 彰 (帝京大学医学部)

「LCM を用いた皮膚 neuroendocrine system の解析」

河野美乃里 (日本医科大学)

「“生命現象をありのままに捉える” —CASE 顕微鏡—」

橋本 守 (大阪大学基礎工学部)

「ミトコンドリア内 Ca²⁺ 過負荷時の ATP 感受性

K⁺ channel の役割」 石田英之 (東海大学医学部)

「生体試料観察のための3次元内部構造顕微鏡」

横田秀夫 (理化学研究所)

「組織標本を使ったカルシウム動態観察：角膜と神経節を例にとりて」

佐藤洋一 (岩手医科大学)

「レーザー顕微鏡を100%使い切る方法」

石館文善 (カール・ツァイス)

「生細胞の機能を視る蛍光プローブ」

川西 徹 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)

「喫煙負荷ラットにおける視床下部・下垂体の内分泌環境変化とその回復過程の3次元解析」

伊東丈夫 (東海大学医学部)

参加費：2,000円 (学会員, 非学会員)

参加費は当日集金いたします。学会員以外の方でも参加は自由ですので、興味のある方をお誘い合わせの上ご参加下さい。

参加申し込み：E-mail または FAX にてお申し込み下さい。お申し込みを頂きましたら詳細をご連絡させていただきます。申し込みをされたにもかかわらず、連絡がない場合はお手数でも再度ご連絡頂けますようお願い申し上げます。なお、当日の参加申し込みも可能です。

ニューマイクロスコープ研究分科会

代表世話人：長村義之

東海大学医学部総合診療系病理診断学

連絡先担当：伊東丈夫

東海大学医学部共利研機能形態部門

〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台

TEL: 0463-93-1121 ext. 2581

FAX: 0463-91-1370

E-mail: itohj@is.icc.u-tokai.ac.jp